Claude Code講座の練習として作った提案です。
クラウドワークス アカデミーの公式の資料ではありません。内容は2026年11月時点の公開ページをもとにした、受講生としての私の考えです。

クラウドワークス アカデミー運営の皆様へ

Claude Code講座【初級】 ご提案

たにぴょん
（クラウドワークス名：nashipai）

申し込みを迷っている方の 3つの不安に、 私はこう応えます。

講座ページを確認し、迷う理由として大きいと感じた3つの不安と、それぞれに対して私が担当できる改善を、先に結論としてお伝えします。

	迷っている方の不安	改善案
1	**「このアカデミーは、信頼して任せて大丈夫？」** ネット上には、金額や中身が見えにくいスクールも多く、見極めるだけで消耗してしまいます。	**運営の方に取材し、アカデミーの「思い」を短い動画にして、講座ページの上部に置きます。** 効果：大 【案1／3ページ】
2	**「受講したあと、本当に仕事につながる？」** 実績ゼロの人が、どう仕事を探すのか見えにくい状態です。	**受講後の「次の一歩」を、矢印でつないだ1枚の図解で見せます。** 効果：大 【案2／4ページ】
3	**「未経験の自分でも、ついていける？役に立つ？」** 各週の説明が作業名中心で、仕事での使い道がイメージしにくい状態です。	**各週の「できるようになること・仕事での使いどころ」を、1枚の図解で見せます。** 効果：中 【案3／5ページ】

まず取りかかりたいのは、不安1（案1）です

私が動画編集の経験をいちばん活かせて、迷っている方の「決め手」にも近いと考えるためです。案2・案3は、運営の方に内容を確認いただきながら、続けて進める形をご提案します。効果の数値をお約束するものではなく、「迷っている方の不安に近いか」を基準に選んでいます。表の「効果：大・中・小」は、取りかかる順番を比べるための目安です。

3つの不安は、どこから見えてきたか

確認したページ：講座ページ／トップページ／受講者の声（note 3件）／卒業生インタビュー／特定商取引法の表記／無料個別相談会／開講スケジュール　確認日：2026年11月16日・17日

すでに伝わっている強み

- 料金（39,600円・税込）が明記されている
- クラウドワークス運営という安心感がある
- よくある質問で、ファイル操作などの不安に先回りして答えている
- ページ上部に「無料個別相談会を予約する」ボタンがある
- 3週間・動画形式で、自分の時間に進められる
- メンターへの質問、Slack、24時間チャット、note記事の添削がある

より伝わりやすくできる点

- **【不安1】**運営の「思い」や、アカデミー自身を信頼できる材料が、講座ページの上部にない
- **【不安2】**仕事・収入・受注の記載がない（受講者の声・卒業生インタビューにも、この講座の受講者の記事は確認できませんでした）。実績ゼロの方の、受講後の道筋も見えにくい
- **【不安3】**各週の説明が「やることの名前」中心（例：「Claude Desktop導入」「Cloudflare公開」）で、イメージが湧きづらい

受講生の視点から（私自身の、申し込み前の状況）

最も知りたかったのは「受講すれば、仕事・収入につながるのか」でした。決め手は、クラウドワークスという運営基盤への信頼と、無料講座で講師を信頼できたことです。申し込み前は、金額や中身が見えにくいスクールが多く、高額に感じる所もあり、情報収集だけで消耗しました。個人の経験ではありますが、迷っている方にとっては「アカデミー自身を信頼できるか」が大きな判断材料になると考えています。

他の講座と比べて見えたこと

Claude Codeを学べる他の講座8件を、公開ページで調査しました（2026年11月16日時点）。価格・内容は変動するため、傾向のみです。

- 他の講座は、満足度・受講者数・実案件のコンペなど、**数値や実績**で信頼を訴求している例が多く見られました。
- アカデミーには、数値では伝えきれない**運営の「思い」**（公開ページから私が読み取った内容：個のためのインフラ／未経験・特別な背景がない方でも、収入を得られるよう支えたい）と、**クラウドワークスという運営基盤**があると感じました。この強みは、現在の講座ページでは十分に伝わっていないと考えます。
- 料金・3週間・サポート・実践で使える成果物（自己紹介スライドなど）は、他の講座と比べても、アカデミーの強みだと私は感じました。

※他の講座を批判する意図はなく、アカデミーの訴求を検討するための整理です。調査内容には、比較記事など、公式ページで確認できていない情報も含まれます。

不安1 「このアカデミーは、信頼して大丈夫？」

案1：運営の方に取材し、アカデミーの「思い」を短い動画にして、講座ページの上部に置きます。 効果：大

なぜ、この不安なのか

申し込みを迷っている方の背中を押すには、**「アカデミー自身を信頼できる」と感じられる要素**が必要ですが、講座ページには不足していると考えます。**「ここは心配しなくていい、ちゃんとしたところ」と伝えること**が、迷っている方にはいちばん大切だと考えます。

制作の流れ

① 打ち合わせ	② 取材	③ 編集	④ 確認	⑤ 公開
伝えたい思いと、公開可否の範囲を決める	質問案は私が用意し、取材する	私が動画を編集する	運営の方に内容を確認いただく	講座ページ上部に設置

動画の内容（案）

- 「個のためのインフラ」という考え方と、未経験・特別な背景がない方でも収入を得られるよう支えたい、という願い。
- メンターがいつでも質問に答える、フリーランスは一人じゃない、という点を、運営の方からひとこと話していただく構成も可能です。
- 運営の方の個人的なお考えは、動画に出しません。公開する内容は、事前に必ず確認します。

期待できる変化

「このアカデミーなら受講してみよう」という安心感や共感が生まれやすくなると考えます。数値をお約束するものではありませんが、迷っている方の判断材料のひとつになります。

私がやること

取材の質問案作成／取材／動画編集（教育関係の会社で、業務として Adobe Premiere Pro を使用してきました）

運営の方にお願いすること

取材へのご出演／公開してよい内容のご判断／制作費のご負担（お見積もりに基づく）

不安2　「受講したあと、仕事につながる？」

案2：受講後の「次の一歩」を、矢印でつないだ1枚の図解にして、1画面で見せます。

効果：大

なぜ、この不安なのか

講座ページには、仕事・収入・受注に関する記載がなく、実績ゼロの方が受講後にどう仕事を探していくのかが見えにくい状況です。私自身、申し込み前にいちばん知りたかったのが「受講すれば、仕事・収入につながるのか」でした。

変えること

仕事の探し方やポートフォリオの活用方法を、短い手順にまとめ、1画面で示します。

講座を終える
ポートフォリオなどの成果物が完成している

▶

プロフィールに載せる
成果物を見てもらえる状態にする

▶

小さな仕事に応募
最初の案件に挑戦する

▶

振り返る
次の案件に活かす

※上の流れは、アカデミーの案内ではなく、私が考えた見本（仮）です。実際に行うなら、手順・内容は運営の方に確認しながら整えます。

期待できる変化

「受講後の道筋」が見えることで、申し込み前の不安が軽くなると考えます。

あわせてできること（ご希望があれば）

- Claude Code講座の受講生に取材し、「受講前→受講後→最初の案件」を短い動画にする（出演のご依頼・許可、実績のご準備が必要です。実績が確認できてから進めます）。
- 受講後アンケートの質問案づくり・集計・図表づくり（実施と公開のご判断は、運営の方です）。

私がやること
手順の整理と図解作成（マニュアルを作成してきた経験と、教える仕事の経験を活かします）

運営の方にお願いすること
内容の正しさの確認／文章の最終チェック

不安3　「未経験の自分でも、ついていける？役に立つ？」

案3：各週の「できるようになること・仕事での使いどころ」を、1枚の図解で見せます。 効果：中

なぜ、この不安なのか

各週の説明は、「Claude Desktop導入」「Cloudflare公開」など、作業名が中心です。「それができると仕事でどう役に立つのか」が、未経験の方にはイメージしにくい可能性があります。

変えること

Week1→2→3を横に並べ、「やること／できるようになること／仕事での使いどころ」を3段で示します。専門用語は、平易な言葉に置き換えます。

	Week1	Week2	Week3
やること	Claude Desktop導入／自己紹介スライド	トークン節約／note記事の公開	ポートフォリオの公開／図解PDF
できるようになること（仮）	自己紹介スライドを、AIと共に作成できる	相手や案件に合わせ、AIを活用して記事を作成できる	自分の作品をWebで公開できる
仕事での使いどころ（仮）	初対面の相手に、安心感を与える資料になる	案件に合わせた発信・提案に活用できる	実績を公開する場になる

※「やること」は、公開されている講座ページの記載内容です。「できるようになること」「使いどころ」は、アカデミーの公式の説明ではなく、私が考えた見本（仮）です。実際に行うなら、カリキュラムの正確な内容は運営の方に確認します。

期待できる変化

受講生が実感している「実際の仕事に応用できる」という価値が、申し込み前にも伝わりやすくなると考えます。

私がやること

図解の作成／見出しの修正案（講座で図解PDFを作った経験と、専門用語をやさしく伝えてきた経験を活かします）

運営の方にお願いすること

カリキュラム内容の確認

進め方

1 ご提案
案1の取材質問案と、動画の構成案をご提示

▶

2 ご相談
運営の方のご意向を伺い、内容とご依頼範囲を決定

▶

3 お見積もり
決めた範囲の作業内容と費用を、お見積もりでご提示

▶

4 ご承諾
お見積もりにご承諾をいただいてから、作業に着手

▶

5 制作
取材・編集を進め、内容をご確認いただく。続いて案2・案3へ

まずは小さな範囲からでも対応可能です。案2・案3は、案1の後に、運営の方のご確認をいただきながら進めます。進め方・ご依頼範囲は、運営の方のご都合に合わせてご相談させてください。

私について

教育関係の会社で、Adobe Premiere Proを使った動画編集とマニュアル作成を担当してきました。さまざまな分野で、パソコンを教える仕事をしてきました。「この人に任せたら、こういう動画になる」をお見せできるよう、ご希望があれば、編集した動画の例をお送りします。

あらかじめお伝えしておくこと

- 取材は、業務としての実績がまだありません。
- 文章作成が中心の業務は対応可能ですが、最も得意とする分野ではありません。
- Webサイト自体の制作・修正は、担当できません。
- 講座内容の正確性や、返金・視聴期限などの規定は、運営の方のご判断が必要と考えます。

ほかにも、ご相談いただける内容

調査の過程で検討した、次の改善案も、ご希望があれば対応可能な範囲でご相談を承ります。

- **「質問すれば誰かが答えてくれる」が伝わる見せ方**：質問のやり取りの例や、Slack・24時間チャットの雰囲気を図で見せます。
- **サポート内容の一覧表化**：「誰に・どのくらい・いつまで」を1つの表にまとめます。
- **完成物の見本の掲載**：スライド・note記事などの見本を並べます。
- **「別途Claude有料プラン」の記載**：料金の近くに添える一言と、置く位置をご提案します。
- **学習時間の目安・視聴期限の整理**：週あたりの目安と、視聴期限を分かりやすく載せます。

むすび

運営の方のお話を伺い、アカデミーの「思い」をより多くの迷っている方に届ける一助になりたいと考え、ご提案いたしました。不足している点や伝え方は、運営の方が最もご存じです。本資料は、Claude Code講座の練習として、講座ページと公開情報から確認できた範囲でまとめた、受講生としての提案サンプルです。実際にアカデミーからご依頼をいただいたものではありません。